

I. 研究主題

自分たちで一生懸命学ぶ子の育成 ～みんなで考える・説明できる 算数～

II. 研究主題設定の理由

本校では昨年度、研究主題を「主体的に学び、ともに高め合う子の育成」、副題を「対話でつくる、分かる算数科授業をめざして」とし、対話を通しての主体的な学び合いを通して、分かる算数科の授業づくりをめざしてきた。

授業づくりでは、「意欲の喚起」「記述力の育成」「対話力の育成」の3つを重点として、授業改善に取り組んできた。重点1の「意欲の喚起」では、問題提示の工夫やねらいとゴールの明確化を図った。重点2の「記述力」では、図や算数用語を用いて言葉や文で説明することを繰り返し指導してきた。また、重点3の「対話力」では、自力解決やねらいにせまる場面での話し合いで学びを深めてきた。これらの取組により、主体的に考え、自分の考えを表現し、学級全体で学び合うことができるようになった。

一方、「ともに高め合う」ことについては、十分とは言えない部分があった。課題解決に向けて、自分の考えをもつためにペア・グループ活動で積極的に話し合う姿はたくさん見られたが、そこから考えを広め、確めあうことで、全ての児童の理解が深まったわけではなかった。練習問題や評価問題、学力調査の結果から、題意を捉えて自分の考えを書く・説明するとなると、正確に書けるのは一部の子に限られてしまうことがわかってきた。

そこで、今年度は課題である、自分の考えを言葉や文章で書く・説明する「記述力」を重点に授業改善を進めることにした。筋道立てて自分の考えを文章に書き表す力を身につけることで、友達同士で考えを伝え合い、学級全体での対話的な学びにつなげ、どの子も自分で「考え 説明できる」算数科授業をめざしていく。また、昨年度担当校学校訪問でご指導いただいた①取組の精査②「自分ごと」として取り組む共通実践③検証にも留意して取り組んでいく。そして、研究を通し、GIGA スクール構想の実現につなげていきたい。

これらの理由から、研究主題を、「自分たちで一生懸命学ぶ子の育成」とし、副題を「みんなで考える・説明できる 算数」と設定した。

Ⅲ 研究全体構想図

